

熊本高等専門学校

ICT

平成25年度
ICT活用学習
支援センター報

第 3 号



	巻頭言
2	はじめに
	ごあいさつ
3	熊本高等専門学校ICT活用学習支援センター報第3号発行
	寄稿
4	メディア制作スタジオを利用した放送部活動報告
5	プログラミング学習用オンラインジャッジシステム「Copiluno」の紹介
	報告
	プロジェクト報告
6	ICT活用学習支援センター研究・教育プロジェクトの成果
	セミナー・講習会報告
7	平成25年度中学校サマーセミナー
8	小学校5、6年生を対象としたコンピュータプログラム体験講座
9	eラーニング講習会（平成25年度熊本高専教員研修会）
10	高齢者対象パソコン講座
11	社会人向け「Arduinoによるマイコン入門講座」
12	平成25年度中学校プログラミングコンテスト
13	ThinkBoard利用講習会報告
14	八代キャンパス教員対象WebClass講習会
15	平成25年度高専学生によるIT講習会報告
	ICT活用学習支援センターからの報告
16	無線LAN整備について
17	無線LANの状況について
18	統合認証サーバの学認連携（Shibboleth IdPの構築）
19	熊本キャンパス図書館の運営について
20	八代キャンパス図書館の現状について
	会議・研修等参加報告
22	平成25年度eラーニング高等教育連携（eHELP）全体会議報告
	障害・メンテナンス状況
	サーバ・ネットワーク関係
23	障害・メンテナンス記録（熊本キャンパス）
24	障害対応・メンテナンス状況の作業報告 —サーバ関係—（八代キャンパス）
	教育用システム関係
25	教育用システム障害・メンテナンス記録（八代キャンパス）
	資料
26	英語書籍の充実（八代キャンパス）
26	英語DVD視聴ブースの新設（八代キャンパス）
26	キャレルデスクの新設（八代キャンパス）
27	平成25年度演習室インストールソフトウェア一覧（八代キャンパス）
28	平成25年度ICT活用学習支援センター演習室時間割（八代キャンパス）
29	WebClassの利用状況の集計平成25年度コースごとのコンテンツ利用状況（八代キャンパス）
30	図書館統計（平成25年度熊本キャンパス）
30	図書館統計（平成25年度八代キャンパス）
30	施設見学者一覧（平成25年度熊本キャンパス）
31	平成25年度活動一覧
33	ICT活用学習支援センタースタッフ
33	ICT活用学習支援センター運営委員会委員
33	ICT活用学習支援センター熊本キャンパス委員会委員
33	ICT活用学習支援センター八代キャンパス委員会委員
34	編集後記

はじめに



熊本高等専門学校 校長 長谷川 勉

熊本高専は、2つのキャンパスに6学科・2専攻を有し、ICTを共通基盤とし、電子情報系と融合・複合工学系分野を特徴とする高等教育機関であります。この特徴を活かすため、ICT活用学習支援センターが開設されて、4年半が経過しました。このセンターでは、従来型の情報アーカイブである図書館の整備と図書利用の促進とともに、ICT教育の高度化、ICT活用による自主的学習の支援、ICTによる校務の効率化、ICT分野での地域貢献活動、ネットワーク環境の管理・更新などを主な業務としています。センターの改修と機器の設置・拡充は、文部科学省および高専機構のご配慮で進めることができましたし、各業務についても実績をあげることができました。

IT利活用の促進は、政府の産業競争力会議による「成長戦略進化のための今後の検討方針」（平成26年1月）でも取り上げられており、あらゆる分野で必須のものとなっています。実際、ICTの教育分野への導入も発展を続けています。学生・生徒一人ひとりにタブレット端末を持たせて反転学習を進める試みや、グローバルな高等教育としてオープンオンライン講座による教育サービスであるMOOC（Massive Open Online Courses）が注目されてきています。高専機構でも、全国51高専で開発されている教材のデータベースへの蓄積と共同利用を進めようとしています。

ICT活用学習支援センターでは、このような社会状況を考慮し、これまでに整備したICT基盤を引き続き進化させながら、そのうえに高専学生のためのマルチメディア教材やeラーニングコンテンツの充実を図ってまいります。また、成果の地域社会への還元や、全国高専との連携を通じて、教育分野でのIT利活用をさらに促進してまいります。

皆様には、本センターに対して今後も変わらぬご理解とご支援を賜りますとともに、忌憚のないご意見を頂ければ有難く存じます。



熊本高等専門学校 ICT 活用学習 支援センター報第3号発行

ICT 活用学習支援センター長 米沢 徹也

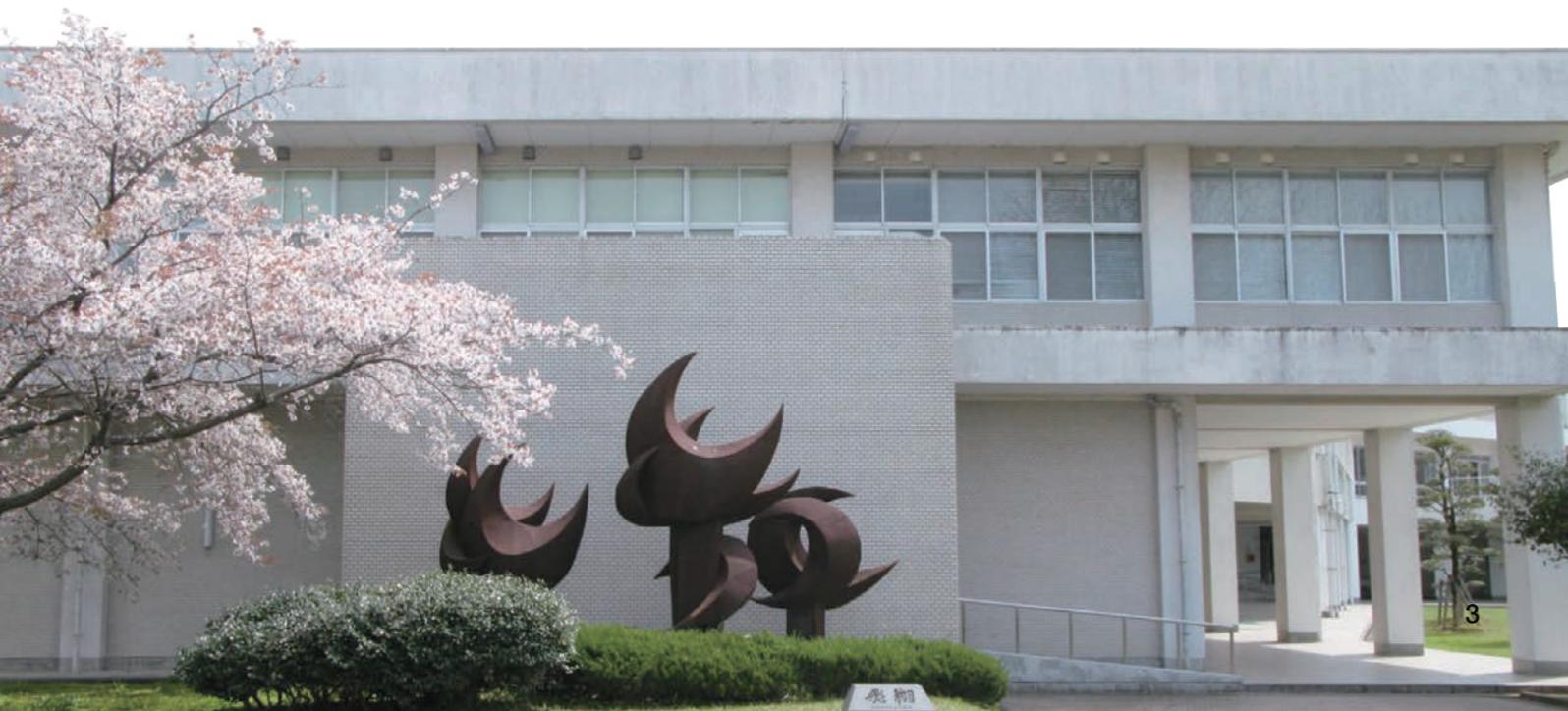
ICT機器の進展はめまぐるしいものがあり、ICT機器を教育に活用する試みが数多くなされています。ICT機器を用いた教育の重要性から最近では小中学校にも様々なICT教育機器が導入され、それらの機器を利用した教育を受けた学生が本校にも入学してくるようになってきました。そのような学生を受け入れる本校では高等教育機関として相応しいICT利用環境の充実を進め、ICT機器を用いた教育が重要であると考えています。これまでに、両キャンパスのICT活用学習支援センターや図書館の改修、教育用システムの更新、ネットワーク環境の整備、無線LAN環境の整備、Eラーニング環境の整備など教育・研究環境の整備に取り組んでまいりまして熊本高専としての出発に相応しい環境が整ってきています。これからは導入した機器をいかに活用していくかが課題になると思います。ICT教育の充実と学生の自学自習を促進するために各種サーバやソフトウェアの導入を行い、教材作成機器を整備して、それらを使用するための講習会を開いていますが、教材作成が進まないのが現状です。先生方の教材作成のための十分な時間が取れない事が最大の要因であると考えています。ICT活用学習支援センターでは引き続き教材作成のための支援に取り組んでまいりますので、必要な機器がございましたらお申し出いただければと思います。

学生や先生方の研究支援のほうに目を向けますと、専門分野の文献検索や図書検索の充実が重要であると考えています。専門分野は多方面に渡っておりますので、なるべく多くの専門分野をカバーできるデータベースへのアクセスが可能になるように、利便性の向上も含め取り組んでいるところです。

ICT活用学習支援センターが取り組んでいます地域貢献活動として、ICT活用学習支援センターが主催する各種講座があります。対象は小学生、中学生、社会人、シニア世代までのすべての世代に渡っており、世代に応じた講座内容としております。

今回、平成25年度の活動内容をまとめ、第3号を発行することができました。内容的には不十分なところが多々ございますが、是非御一読頂き、センター活動について皆様からの忌憚のないご意見をお寄せ頂ければと思っています。

今後ともICT活用学習支援センターの活動に御理解と御協力を賜りましたら幸いです。



メディア制作スタジオを利用した 放送部活動報告

人間情報システム工学科 3年 上野 拓武

熊本キャンパスのメディア制作スタジオが完成して2年が経ちました。このスタジオは申請を出せば誰でも使える場所ですが、現在は放送部が主に使用しています。放送部ではNHK杯全国放送コンテスト（以下Nコン）の活動や映像・音声編集などを行っています。

Nコンの活動では、高い遮音効果により台本等の企画会議やラジオドラマの収録が雑音などを気にせずに行うことができます。企画会議では、スタジオ内の液晶テレビと持ち込んだノートPCをHDMIケーブルで接続し、資料を表示しながら書き込みながら話し合いをすることでより効率的な会議を行うことが出来ます。ラジオドラマの収録では、マイクやケーブル等は設置してあるため、ミキサーとPCを接続するだけで収録を始めることができ大変便利です。コントロールルーム内にもマイクを設置することで、スタジオ内の出演者とコミュニケーションをとることができます。また、収録時には収録用PCにスタジオ内の液晶テレビを接続し、出演者と収録者がクラウドで共有している台本を見ながら収録しました。

映像・音声編集では、スタジオ内のMac Proを使用

しています。Mac ProにはAdobe社の編集ソフトが入っており、撮影した映像や写真を取り込み、編集を行います。処理速度も一般のPCよりも速いので、通常であれば時間のかかるレンダリング等もスムーズに行うことができます。このMac Proから、数多くの作品が生まれています。

しかし、問題点も残っています。一つは、下からの音の防音が完璧ではないということです。メディア制作スタジオは壁・窓ガラスの防音はとてもよく、同じ階の音はほとんどカットされますが、真下のICTホールで軽音楽部等が演奏をしている時は、マイクが演奏音を拾ってしまい収録ができません。

もう一つは、まだまだ機材を使いこなせる人が少ないということです。放送部とはいえ、設備を使いこなせる人は数人しかいません。今後の活動の幅を拡げ、後輩達へ引き継いでいくためにも、より多くの人が使えるようにしていきます。

今後は設備を使いこなせるように勉強をし、よりよい作品作りを行っていきたいと思います。



メディア制作スタジオでの放送部の様子

プログラミング学習用オンラインジャッジシステム「Copiluno」の紹介

八代キャンパス 技術・教育支援センター 岩本 舞

プログラミングの学習においては、学生が実際に様々な課題に取り組み、ソースコードを書くことが重要となります。そこで従来の授業では、学生に課題を課し、レポートを提出してもらうといった手法で、実際に学生がプログラムを作成する機会を設けていました。しかしながら、従来の形式では、教員が一人で120人分のレポートを採点しなければならないことから、多くの課題を出すことが難しい状況でした。また、学生側にも、コンパイラが自宅パソコンやタブレット端末にインストールされておらず、学校に残らないと課題ができない、口頭試問を受けるための列に長時間並ばなければならないなど、不便な点が多くありました。

そこで、学生が多くの課題に取り組むことができ、また素早くフィードバックを得られるようにするため、平成23年度よりオンラインジャッジシステム「Copiluno」を開発し、平成24年度12月より本科3年生が受講するプログラミング基礎の授業に導入しました。

オンラインジャッジとは、Webブラウザ上でソースコードを提出すると、自動で採点され、その結果がフィードバックされるシステムです。本システムでは、学生ユーザは、課題の閲覧・提出および自分のソースコードの閲覧ができます。教員ユーザは、学生ユーザの機能に加え、課題のアップロード、学生の成績管理等ができます。

ユーザはすべての操作をWeb上でおこなうため、特殊なソフトウェアをインストールする必要がなく、自宅のパソコンはもちろん、タブレット端末、スマートフォンなどでも、手軽に課題に取り組むことができます。また、システム上にソースコードを保存できるため、USBメモリに保存して持ち運ぶ必要がなく、思い立ったときに、いつでもどこでも課題の続きをすることが可能です。

本システムを3か月間授業で使用した学生126人に対し、本システムに関するアンケートをおこないました。本

システムの機能についての設問では、ほとんどの学生が従来の課題より便利になったと回答しました。また自由記述では、「以前はプログラムを書けなかったが、一人で書けるようになった」という学生が多く見られました。また、「大変だが、問題が解けると達成感がある」、「最初は嫌だったが、問題を解くうちに楽しいと思えるようになった」、「プログラムができると嬉しい」といった肯定的な意見もありました。

今後は学生が課題に取り組むようになるよう、様々な工夫を行っていくことを考えています。また、プログラミングが苦手な学生でも一人で学習ができるよう、プログラムの問題点の指摘など、サポート要素を増やしていく予定です。



本システムで課題をする様子

プロジェクト報告

ICT活用学習支援センター研究・教育プロジェクトの成果

情報通信エレクトロニクス工学科 石橋 孝昭

プロジェクト名

音響信号を用いた技術の可視化に関する学習支援プロジェクト

プロジェクトメンバー

代表者

情報通信エレクトロニクス工学科 准教授 石橋 孝昭

共同実施者

PBL・総合教育センター 教授 小田川裕之

制御情報システム工学科 准教授 中島 栄俊

人間情報システム工学科 准教授 藤井 慶

プロジェクトの目的

音響信号処理技術を中心に、教科書で読むだけでなく、技術を実際に見られて触れられる教材を開発することで、ものづくりを意識した高専教育の学習を支援することを目的としてプロジェクトを実施した。特に、本プロジェクトは、全学科の若手教員を中心として立ち上げている点に特徴があり、技術に未習熟な学生の意見を取り入れ、学生の立場に立って学習支援することを目的とした。

成果報告

本プロジェクトで得られた成果は、すでに、専攻科特別研究や本科卒業研究において学生が設計や製作ができるようになっている。また、ものづくりに関する授業に対して、テキストの作成や実験内容の工夫が進められている。さらに、ものづくりを活性化させるために、電子工学初学者に対する電子工作の設計や製作のための基礎学習に関する取り組みや、小中学生に対して自

宅で実施可能な電子工作キットを考案した。

音響信号処理の研究や教育に関する業績として、プロジェクト期間中に以下の成果を上げた。

【特許出願】2件

石橋孝昭,“信号処理方法、装置、プログラム、およびプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体” 特願2012-225734, 2012. など

【教育論文】2件

石橋孝昭,大隈千春,山崎充裕,“自宅で再現可能な小中学生向け電子工作キットの考案” 論文集「高専教育」,第37号, 2014. など

【国際会議】8件

【研究紀要】3件

【口頭発表】26件

【学生指導】テキスト開発、教材開発など

【地域連携】出前授業、公開講座、夏の電子工作教室、共同研究、技術紹介、技術相談など



特許技術紹介の様子

平成25年度中学校サマーセミナー

八代キャンパス共通教育科 赤石 仁

平成25年8月26日(日)に、熊本高専八代キャンパスにて、熊本高専ICTセンターが主催する平成25年度サマーセミナーが開催された。このセミナーは、中学生を対象として、高専の学生が運営及び講師を務めて初歩的なプログラム教育を行う点に特徴がある。

会場は八代キャンパスICT第2演習室で、参加中学生は27名で北は菊池、南は鹿児島のカン川内まで広い地域からの参加者が見られた。昨年までは2日間にわたって開催されていたが、今年度は1日のみの開催で、セミナーの開催時間が1時間例年より延長された。セミナーは、参加者が午前中にスクイークというタイル型のプログラミング言語を学び、その講義で習った技術を生かして、後半に独自のゲームの作成に取り組むという構成である。今年度から、最後の30分程度で午後に作成した作品を1分ほどで簡単に紹介する時間が設けられた。これにより、参加者はより真剣に午後のゲーム作成に取り組んだようだ。

サマーセミナーへの高専の参加学生はフルタイムで参加したのが2名、一時的に参加した学生が1名、前日の準備のみ参加した学生が1名であり、特に当日のマンパワーが不足していた。受け付けと案内でやや不足が見られ、午後の課題で複数の中学生からの質問があったが、質問に対して答えるには人数が不足しており、返答までに時間がかかったり、不十分な返答とならざるをえなかった。来年度以降参加学生の不足をどのように解消するかが課題である。



小学校5、6年生を対象とした コンピュータプログラム体験講座

生物化学システム工学科

村田 美友紀

ICT活用支援学習センターが主催して、「小学生5、6年生を対象としたコンピュータプログラム体験講座」を9月8日（日）9:00～12:00に開催しました。八代キャンパスで開催された講座には、八代市内だけでなく熊本市や水俣市などから9人の小学生が参加しました。

講座では小中学生のプログラミング学習に世界中で利用されている「Squeak（スクイーク）」を使って、八代名産ばんぺいゆをモチーフにしたキャラクターを操作する簡単なゲームを作成しました。参加者のほとんどはパソコンでゲームやインターネットをしたことはあるが、プログラミングの経験がないということでしたが、タイピングが少なく、ほとんどをマウスの操作で作成する「Squeak」プログラムは分かりやすく、操作にもすぐに慣れた様子で、予定時間の半分で用意したテキストの内容を完成させてしまうほどでした。自分が描いた絵がプログラムで動作すると歓声が上がリ、TAの本校学生に分からないところを質問するなど積極的に取り組んでいました。また、「ばくだんをうごかしたい」、「迷路にしたい」、「音を出してみたい」などそれぞれが考えたアイデアをTAに教えてもらいながらプログラミングを楽しみました。

アンケートでは、全員の参加者が楽しかったと回答しており、講座の内容もほとんどの参加者がだいたいわかったと回答しています。「もっとプログラミングしたい」、「他のゲームも作ってみたい」、「あっというまの3時間でした」との声もあり、短い時間の中でもプログラムを楽しんでもらえたことが分かりました。



講座の様子

e-ラーニング講習会 (平成25年度熊本高専教員研修会)

人間情報システム工学科 小松 一男

平成25年9月2日(月)熊本キャンパスのICTホールにおいて、八代キャンパスと熊本キャンパス合同の平成25年度熊本高専教員研修会が行われ、研修会プログラムの最初の10時10分から11時10分までe-ラーニング講習会が行われましたのでご報告いたします。

この教員研修会は、「両キャンパスの教員と一緒に研修を受講することで、一つの高専としての意識を高めながら、教員としての教育研究の資質向上を目指すと共に、相互の理解や情報の共有を行うことで、互いの理解を深める」ことを目的として毎年行われています。ICTセンターでは、この両キャンパス合同で行われる教員研修会を利用し、e-ラーニング教材作成の講習会を実施して、学生の自学自習への活用が図られるよう、各種e-ラーニングシステムの活用方法についての講習会を行っております。

講習会の内容は、まず小松より本校で利用されているLMS(学習教材の配信や成績などを統合して管理するシステム)であるWebClassの利用状況の紹介、学生の指導記録をカルテとして保存し、教員間でそのカ

ルテ情報を共有できるシステムである「Kシステム」の利用方法、通常の授業を家庭用ビデオで収録し、配信用のコンテンツとして編集可能な講義映像自動作成システム「i-Collabo」の使用方法、その配信用の講義映像をネットワークから配信するストリーミングシステムの「Content Cube」の使用方法と活用例の紹介、ネットワークカメラを用いた講義映像のライブ配信の方法についての講習会が行われました(図1参照)。

最後に、パナソニックさんから教室に設置したネットワークカメラによる講義映像の全自動収録・配信システムである「Argos View」の紹介がありました。このシステムは、ICTセンターとして将来的に導入を計画しているシステムであり、編集システムの「i-Collabo」やストリーミングシステムの「Content Cube」を操作しなくても、教員は通常の授業を行えば自動的にストリーミング配信できるシステムですので、先生方の負担がなく、映像コンテンツの活用を一気に広めることができるシステムとして期待しております。

ICTによる学生支援システムの概要(熊本キャンパス)

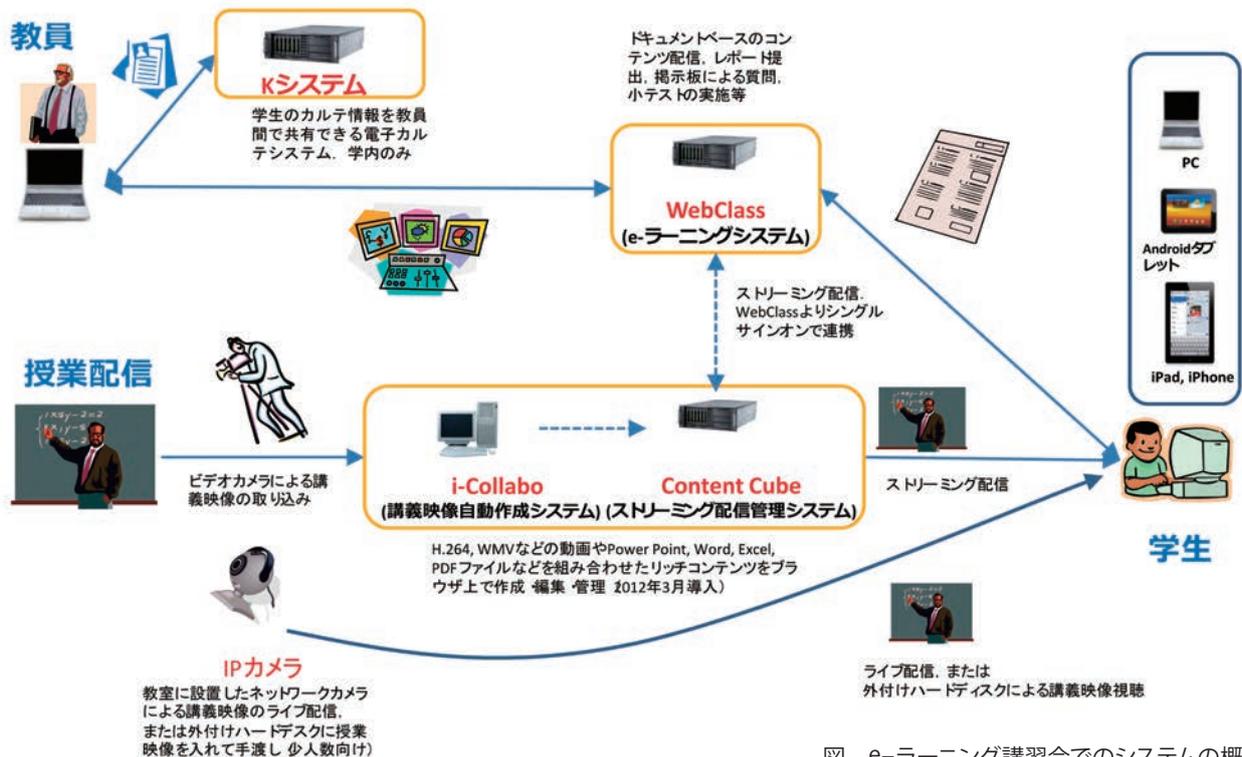


図 e-ラーニング講習会でのシステムの概要

高齢者対象パソコン講座

八代キャンパス共通教育科 米沢 徹也

平成25年9月9日(月)～9月11日(水)の18:00～21:00に熊本高専八代キャンパスのICT活用学習支援センター第2演習室において、ICT活用学習支援センターが主催して高齢者対象のパソコン講座を開催いたしました。受講者はシニアネット八代支部会員の皆様で年齢は40歳代から76歳までの18名でした。講師は本校の教員が交替で担当し、受講者からの様々な質問に即座に応えられるように7名の支援学生を配置しました。

講座はワードを使って、実際に具体的な文書を作成するもので、作成する文書はあらかじめ講師が作成し、受講者はその文書をコピーして貼り付け、編集操作を中心に進められました。受講者は、かなり習熟されている方から初心者の方まで幅広く、初心者の方はマウスやキー操作の仕方やアイコンの位置を質問しながら意欲的に文書の編集作業に取り組んでおられました。

アンケートの結果より、14名(78%)の方が講座内容の70%以上理解できたとの回答でした。ゆっくりと進めたのですが、3名(17%)の方は進め方が速いとの感想でした。内容がやや難しかったと回答された方が13名(72%)いました。次回もワードまたはエクセルを開講して欲しいと希望されている方が多いようでした。



講座の様子

社会人向け「Arduinoによるマイコン入門講座」

地域イノベーションセンター 開 豊

八代キャンパスICT活用学習支援センターの第1演習室において、10月12日、19日、26日の土曜日3週にわたって、社会人向け「Arduinoによるマイコン入門講座」を実施しました。

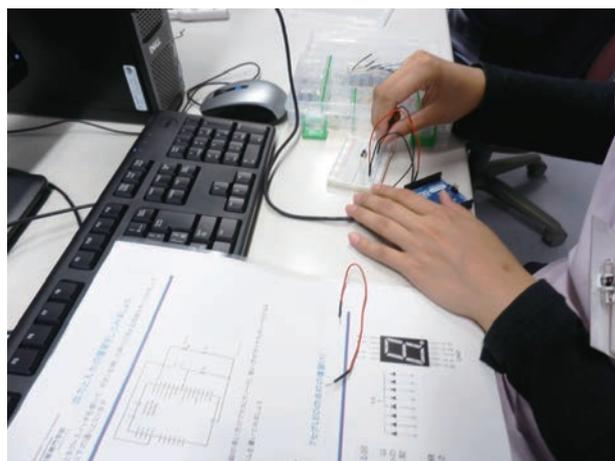
本講座は、地域の企業エンジニアのために、ICT活用学習支援センターと地域イノベーションセンターが合同で開催する社会人講座で、本年度は、センタースタッフでもある機械知能システム工学科の村山准教授と湯治准教授を中心に、近年、利用が拡大しているマイコンボード：Arduinoを使った制御システムの構築とプログラミングの実際を学び、その応用力・実践力を養うことを目標にしました。

講座では、近隣企業の若手エンジニアや一般社会人、合わせて11名の参加があり、最初は、基本的なArduinoシリーズの紹介やドライバーインストールなどの使用方法、プログラミング環境の操作法紹介などからスタートし、その後、基本的な個々のデバイス：スイッチやLED、7セグメントLEDなどを使ったブレッドボード上の回路の組立て、そして、制御プログラムの作成、書込みの演習へと進みました。最終的には、各種センサーやドットマトリックスボードなどを使ったデジタル表示まで、PBL手法を盛り込んだ自学型の演習形式が続きましたが、学生TAたちのサポートもあって、受講生たちは順調なペースでカリキュラムを消化しました。

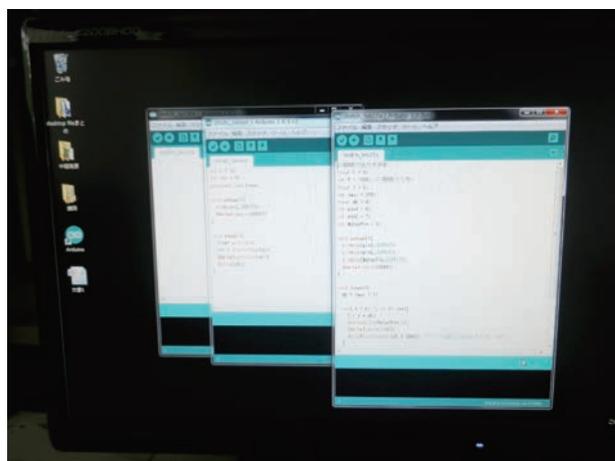
3週目のアンケートでも、「温度センサーを使った計測回路は仕事でも使える」「マトリックス表示は面白かった」などの感想がよせられ、好評のうちに講座を終えることができました。



センター第1演習室での講座の様子



プロトボード上での回路制作



スケッチによるプログラミング演習

平成25年度中学校プログラミングコンテスト

八代キャンパス共通教育科 赤石 仁

平成25年10月27日(日)に、熊本高専八代キャンパスにて、熊本高専ICTセンターが主催する平成25年度中学校プログラミングコンテストが開催された。このコンテストは、中学生を対象として、8月に開催されたサマーセミナーで学んだプログラミングに関する知識を活かし、テーマに沿った作品を制作して発表しプログラミング技術を競い合うもので、今年で7回目の開催となる。本年度のテーマは「スッキリできるゲームを作ろう」である。このコンテストは、高専の学生が運営において中心的な役割を務め、イベント運営を通じて学生のコミュニケーション能力や運営能力の向上をも目指す点に特徴がある。

会場は例年の八代キャンパス合同講義室からICT第2演習室での開催となった。参加中学生は2名で八代市外からの参加者となった。中学校の技術・家庭の授業内容の変更の影響もあるかと思うが、来年度以降は八代市内からの参加者も期待される。

当日は、参加者が応募作品のゲームを紹介するプレゼンテーションと、実際にゲームを動かしてみるデモンストレーションを10分以内で行い、その後、審査員の本校教員3名からの質問に緊張しながらも答えていた。発表が全て終了した後は、参加者同士がお互いの作品で遊んだり意見を交換したりしていた。優勝者と準優勝者には、賞状と副賞が贈られた。

8月に開催したサマーセミナーへの高専の参加学生は当日参加が5名、前日の準備にも参加した学生が工場見学旅行の影響もあり3名であった。このプログラミングコンテストでは、サマーセミナーの時のようなマンパワー不足はみられず、中学校からの参加者が少なかったこともあり、5人で十分運営する事が出来た。

昨年度の参加中学生は8名5チーム、今年は2名2チームと参加者の低迷が重要な問題であり、来年度以降は比較的参加者が多いサマーセミナーと同時に開催するなど、何らかの修正が必要になると考えられる。



ThinkBord利用講習会報告

生物化学システム工学科 村田 美友紀

ICT活用学習支援センターで導入した情報コンテンツ制作ソフトThinkBordの利用講習会を平成25年12月2日(月)15:30~16:10に実施しました。センター委員の村田が講師となり、16名の教員が参加されました。講習会ではフリー版を使って、実際にコンテンツの制作を行いました。制作できるコンテンツは1分間との制限がありましたが、自分で作成した授業資料を使って、自分の音声と描画を記録したコンテンツが簡単に作れることを体験していただきました。

フリー版は機能が限られていますが自室で制作できる手軽さがあり、フリー版で作成したコンテンツを作りためて、Officeで編集するなどの利用方法の紹介がありました。この講習会をきっかけにThinkBordの活用が促進されることを望みます。



講座の様子

八代キャンパス教員対象WebClass講習会

八代キャンパス共通教育科 米沢 徹也

学年末試験期間中の2月5日（水）の15:00～16:00にICT活用学習支援センター八代キャンパスの第2演習室において、ICT活用学習支援センター専任教員の小島教員を講師として教員を対象としたWebClassの操作講習会を開催しました。本講習会はWebClassの利用促進を図るためにICT活用学習支援センターが主催して開いたもので、試験期間中の多忙の中、23名の先生方にお集まり頂くことができました。講習会ではWebClassの操作に慣れていただくことを第1の目標に掲げ入門的な内容とし、ユーザー登録の方法、出欠管理の方法、配布資料の登録方法、WebClass上でのメールの使い方、テストやアンケートの作成方法について実習を行いました。初めて操作される先生も見受けられましたが、熱心に受講されていました。平成26年度の新年度に授業で使っていただくことをお願いして講習会を閉じました。



講座の様子

平成25年度高専学生によるIT講習会報告

人間情報システム工学科 小松 一男

熊本キャンパスでは、地域貢献活動の一環として情報技術（IT）の教育支援を行うため、地域の方々を対象にパソコン教室を高専生が講師となり実施しています。「熊本高専生によるパソコン教室（初級）」と題して、専攻科生が講師となり、パソコン入門コース、文書作成初級コース、表計算初級コースの3コースに分かれ夕方4日間にわたり実施されましたのでご報告いたします。

平成26年2月24日（月）から2月27日（木）までの4日間、夕方18:00から20:00の日程で行われました。各コースの主な内容は次の通りです。

●パソコン入門コース

キーボード入力、インターネットやメールなどパソコンの基本操作を習得したい方。

講師：専攻科1年 宮里健太郎君

●文書作成初級コース

ワードを使って写真や図を配置した文書作成をしたい方

講師：専攻科1年 木村慎君

●表計算初級コース

エクセルを使って表計算の基礎を学びたい方

講師：専攻科1年 城佑輔君

講師役の学生は3名の専攻科生が担当し、またそれぞれのコースには4名から5名のボランティアの補助学生もついており、講習会に参加していただいた受講者がキーボードの操作が分からない、パソコンの専門用語が分からないといったことにすぐに対応できるようサポートしており、きめ細やかな指導につながっています。この講習会へのサポートはボランティアの単位認定の対象になっており、将来の就職活動にも役立てられるようになっております。

受講生は、地元の合志市を中心として定員各コース20名に対し、パソコン入門コース17名、文書作成初級コース16名、表計算初級コース10名の合計43名にお集まりいただきました。年齢層としては、20代から70代の方までおられ60代の方が半数で最多でした。定員より少なめの人数でしたが、その分きめ細やかな対応ができたように感じられます。

講習会中は丁寧な演習用のテキストを講師役の学生が準備してくれたこともあり、また補助学生との連携もうまく働き、スムーズに行われたと思います。受講生の方からも好評でした。講座終了後のアンケート調査でも、親切だった、丁寧だったといった内容がよく見られ、概ね良い評価が得られました。



写真：「高専生によるパソコン教室」の様子

無線LAN整備について

情報通信エレクトロニクス工学科 石橋 孝昭

熊本キャンパスでは、施設整備補助金により、平成26年4月から無線LANシステムを更新し、運用を開始した。その概要を説明する。

従来の無線LANは、平成20年度に11台のアクセスポイント（以下APと略す）、6台のPoEスイッチおよび1台の認証ゲートウェイ（以下認証GWと略す）で構成されたシステムとして初めて導入され、年度ごとにAPを増設して平成25年度当初には36台の規模になっていた。設置場所としては、会議室、講義室、研修室、教室を対象とし、学生の利用も認める運用を行っていた。電波は2.4GHz帯を利用し、IEEE802.11b/g/nをサポート（初期のAPはn非対応）し、セキュリティ面では、共通のSSIDを用いてWEPによる暗号化を行い、ユーザ認証は認証GWで行い、アカウント情報は認証サーバから得ていた。

このシステムの問題点として、次のようなものが挙げられていた。

- 特に初期のAPの能力が低く、多数のアクセスに対し対応できない。
- APの絶対数が不足しており、実験室、研究室の一部は利用不可能である。

- WEPはセキュリティ上不適切である。
- ICTセンター管理外のAPも多く存在し、電波干渉が起きていると推測される。

特にWEPの使用についての問題は、早急に対応すべき課題であった。そこで、以下の点を考慮して更新を検討した。

- APの高性能、高速化。
- APの大幅な増設と、多人数の同時使用に耐えられるべく教室等への複数台のAP設置。
- AP一括管理の強化。
- セキュリティを向上。
- PoEスイッチをミッドスパン等で置換え。
- 国際無線ローミング基盤eduroamへ対応。

具体的には表の通りである。AP増設によるトラフィック増大に対応するため、校内LANのVLAN設計を変更する必要があった。

今回の更新により、校内のほぼ全域で無線LANが使用できるようになり、多くの端末による同時使用に対応できた。また、主に教員を対象としたIEEE802.1xの導入も準備中である。

AP	通信規格	IEEE802.11a/g/b および IEEE802.11n			
	セキュリティ	WPA2/AES および認証 GW			
	台数	新設 89, 継続使用 11 (予備機を含む)			
	配置	1号棟 (ICT)	11台	1号棟 (校舎)	35台
		2号棟	5台	3号棟	6台
		4号棟	11台	5号棟	11台
6号棟		6台	管理棟	3台	
くぬぎ会館		4台	その他	5台	
ミッドスパン	ポート数	16ポートおよび24ポート			
	台数	新設 7, 継続使用 2			
	配置	1号棟 3台, 2～6号棟と管理棟各 1台			

無線LANの状況について

ICT 活用学習支援センター 藤本 洋一

八代キャンパスの無線LANの状況について以下に報告する。

平成26年5月9日現在、八代キャンパスでは表のように118台の無線LANアクセスポイントが稼働中である。これらにより、建物の構造などの影響で電波状況が悪い場所があるものの、主要な建物内はほぼすべての場所で無線LANの利用が可能となっている。利用にあたっては、本校の情報セキュリティポリシーのもと、特にモバイル機器のOSのアップデートとウイルス対策を行っているという条件で、本校の認証サーバにアカウントを持っている学生・教職員は利用が許可されている。

利用状況は下のグラフのようになっている。昨年4月と今年4月の一日ごとのログイン数を合計したものである。このグラフから昨年度の利用開始から利用者数がおよそ2倍になっていることがわかり、モバイル利用環境の重要性が高まってきていると判断される。

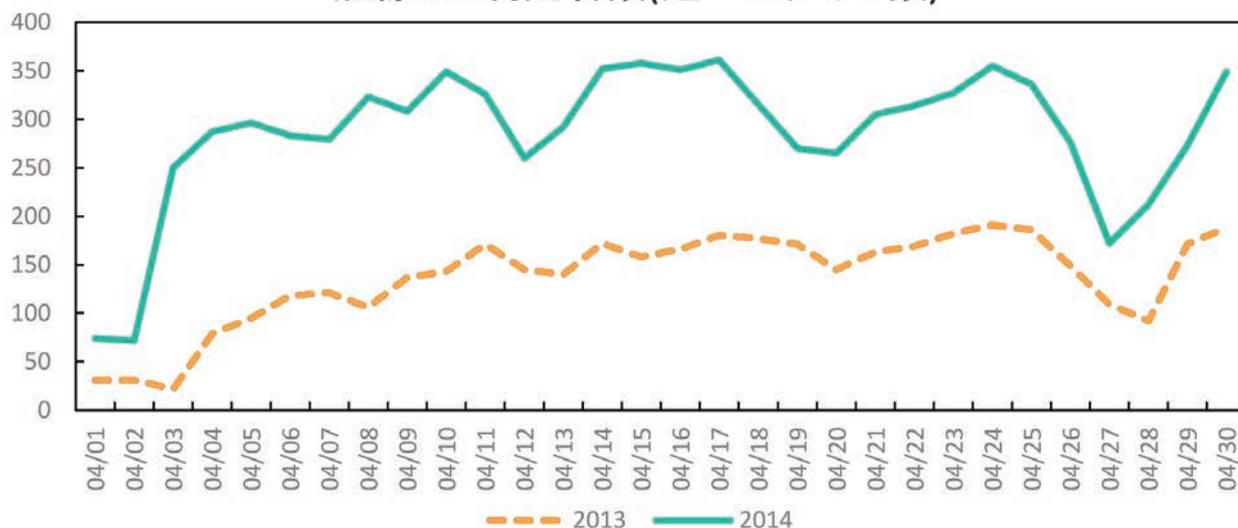
利用環境の改善については、随時実施している。特に昨年の11月に、それまでエッジスイッチごとにSSIDがばらばらでそれぞれで認証を受ける必要があった仕組みを、建物ごとのSSID統一と認証経路の調整により、建物内では移動しても新たなログインをしなくても利用可能なローミングの仕組みを実現することができ

た。さらに今年度は老朽化の懸念されているアクセスポイントの更新を予定している。また、国際ローミング基盤eduroamへの対応や、認証の煩雑さを解消する仕組みも検討中である。

場 所	台 数
一般科目棟・管理棟	13
専門科目棟 1	22
専門科目棟 2 (生物棟)	10
専攻科棟	5
共同教育研究棟	3
実験実習棟	4
図書館棟	6
竜峰会館	5
寮(北寮)	18
寮(南寮)	18
寮(夕葉寮)	8
第2体育館	1
合 計	118

注：校舎改修のため、ほかに5台が停止中

無線LAN利用者数(延べログイン数)



統合認証サーバの学認連携 (Shibboleth IdPの構築)

ICT 活用学習支援センター 小島 俊輔

「(依頼) 教職員を対象とした情報セキュリティ教育実施に伴う学術認証フェデレーション (学認) への参加について」。これは2013年7月8日に高専機構本部より届いたメールのタイトルである。要は、高専機構がオンラインで全国高専教職員向け情報セキュリティ教育を実施したいので、そのシステムを使用するための認証の仕組みを各高専で構築しなさい、というものである。構築の期限は2014年3月末日。

認証の仕組みといえば、2012年3月に、全国の高専に統合認証基盤 (UnifIDone) が導入されており、その後、給与明細やXyθοςをはじめ、学内の多くの認証アカウントが次々に統合されたのは記憶に新しいが、これは高専や機構で用意したシステムに限ったアカウントの統合であった。今回、高専機構本部が予定している情報セキュリティ教育は、国立情報学研究所 (NII) で無償提供されているeラーニングシステム (学認連携Moodle講習サイト) を利用したものである。これは他機関のサービスであり、利用するためには、他機関と熊本高専の認証システムを連携できる仕組み、すなわち学術認証フェデレーション (略して「学認」) への参加が必須となる。つまり、冒頭のメールを要約すれば、学認と各高専の統合認証基盤とを連携させるための認証サーバ、通称IdPを新たに構築するのが今回の我々のミッションということになる。IdPの構築にはShibbolethという専用のミドルウェアを用いるが、初めて接する用語の多さにかなり閉口した。「運用Fed、メタデータ、スコープ、DS、SAML、eduPersonPrincipalName」など、例を挙げればきりが無い。設定内容を忘れては大変なのでその都度メモを

残したが、A4で60ページ弱。なかなかの量である。

設定を通して徐々に用語やShibbolethの仕組みが理解できたが、学外サーバとのやり取りが頻繁に発生するため、セキュリティにかなり配慮しているという印象を受けた。金庫に鍵をかけた後、鍵を安易に引き出しにしまったりしないのはもちろんのこと、鍵を製造・販売した鍵屋さんや販売員すら信用せず、その身元を念のため調べる。身元の確認には内容証明郵便を使い、身元確認の書類が改ざんされていないことを確認する。金庫を開ける際は、周囲に人の気配がないことを見計らい、金庫の開け方や中身は絶対に誰にも見せない。税理士など金庫の中身を特別に知る必要性のある人にだけ、必要最小限の情報のみを小出しに教える、という徹底振りである。現実の世の中ではなかなかそこまでするのは難しいが、Shibbolethではそれが実現されている。そんな仕組みと悶絶しながら、どうにかこうにか期限である2014年3月末までに構築が完了した。

現在、機構から依頼のあった学認連携Moodle講習サイトが利用できるのはもちろんのこと、それ以外にも、researchmap (ReaD&Researchmapから改称)、CiNii、Microsoft DreamsparkといったSPが利用可能である。もし、利用したいサービスに「学認連携」や「shibboleth」の文字を発見されたなら、そのSPの情報をICT活用学習支援センターまでご一報ください。IdP構築と比べたら、ほんのわずかな手間で熊本高専IdPと連携できますので、遠慮なくお申し出いただければ幸いです。

熊本キャンパス図書館の運営について

熊本キャンパス共通教育科 伊藤 利明

平成23年度に旧図書館棟が全面改修され「ICT活用学習支援センター」の施設・設備の充実が図られた。平成25年度は、学術情報活用支援事業部の中核を担う図書館の利便性を向上させるため、運営面での施策に力を入れた。

第一に図書館からの情報発信手段の多様化である。大型ディスプレイを図書館入り口に設置し、新着図書を紹介や図書館からの連絡を常時掲示している。

『図書館だより「くぬぎの森」』は平成25年度から全学生・教職員に配布することとした。熊本高専のホームページの図書館の情報にアクセスしやすいようにトップにショートカットと新着情報投稿用の図書係のアカウントを作成してもらい、情報の閲覧・発信をやすくした。DENのスペースの有効活用を図るため、折りたたみ式の大型掲示ボードを設置し、学生の写真展やイラスト展を開催した。文化系クラブの作品発表の場として活用していきたい。

第二に図書委員会の活性化である。図書委員に年2回の書店でのブックハン・ティングに参加してもらったり、「くぬぎの森」に推薦図書の紹介文を寄稿してもらった。

第三に利便性の向上を目指した利用規則の改正である。借り受け者の如何に関わらず一般貸出は2週間・3冊以内とし、学生と一般利用者の貸出期間を従来の2倍に延ばした。教職員の一般貸出は貸出期間・冊数ともに少なくなったが、教育及び研究に必要な図書館図書は長期貸出として従来の2倍の2ヶ月間、研究費で購入した書籍は特別貸出として貸出期間・冊数

ともに無制限とした。技術センター職員も特別貸出は同様の扱いとした。一般利用者については、新たに入館証を作成し、2度目の来館からはスムーズに利用できるようにした。

第四に所蔵図書のデータベース化の促進である。学生補助職員にも協力してもらって、教員室および図書館書庫に所蔵する未登録図書のデータベース化の作業を進め、データベース化が完了する目途が立った。また、初めて業者による蔵書点検を行い、所在不明図書や未登録図書が明らかになり、データベースが精緻化された。これをもとに平成26年度に書庫の整理を行う予定である。

第五に教育・研究の支援のための取り組みである。電気学会や電子情報通信学会の論文誌の冊子体の廃止に伴い、両学会の論文のオンライン・データベースを利用可能とする予算措置を講じてもらった。これにより、平成26年度から両キャンパスで両学会の全分野の論文をオンラインで購読できるようになった。また、専門学科教員を対象として、学術雑誌等の購読希望アンケート調査を行い、それに基づき来年度の購読雑誌の決定を行った。

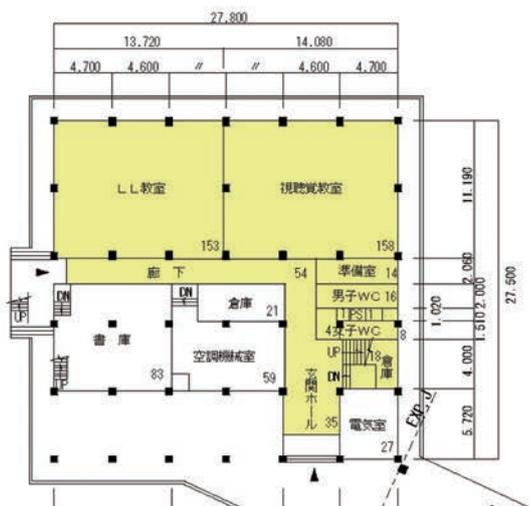
第六に図書館の保全への配慮である。図書館内はカーペットが敷いてあるため、染みや埃が取れにくく、ダニも発生しやすい。図書館の保全と衛生面を配慮して、業者によるクリーニングを初めて行った。今後も業者によるクリーニングを定期的実施していく予定である。

八代キャンパス図書館の現状について

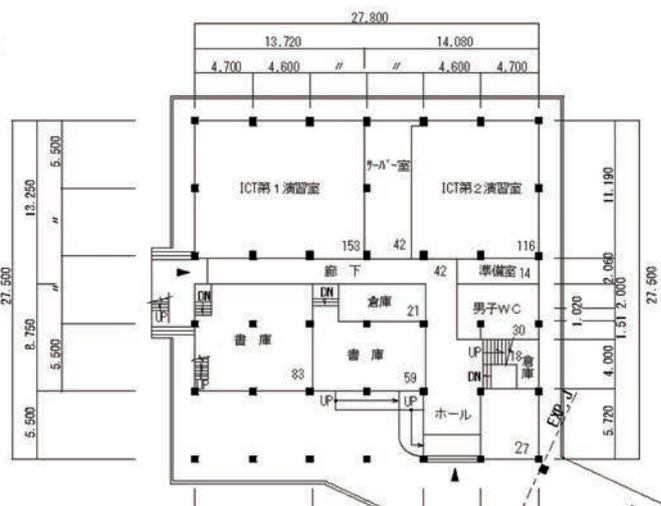
学務課 学術情報係長 光永 清司

■施設・設備

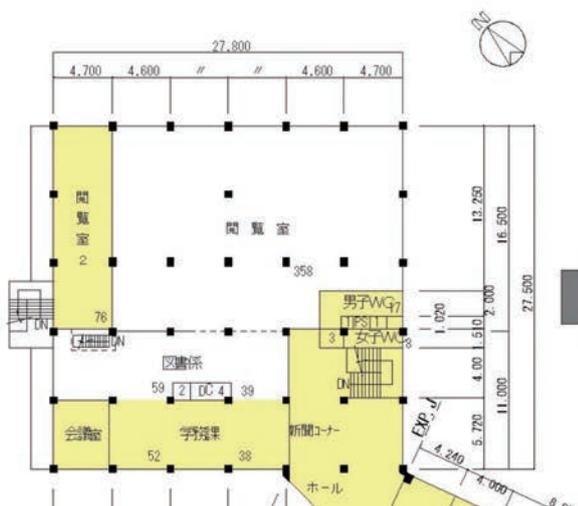
平成22年8月～9月にかけて図書館棟内部の改修が行われ、2階南側の学務課スペースがICT系教員室2室・メディア開発室・ICT会議室・ICT事務室へ、また西側の閲覧室②・パソコン室がPCコーナー・グループ学習室①・グループ学習室②（国際交流室）となった。1階については、LL教室・視聴覚教室がICT第1演習室・ICT第2演習室・サーバー室へと改修された。その後、平成25年8月～10月にも改修が行われ、1階空調機械室・学生会倉庫が閉架書庫・ICT準備室へとそれぞれ改修が行われた。また平成26年2月には、平成22年の改修で廃止したAVコーナーを館内に設けた。平成24年3月には、未手続き図書持出し防止装置ゲート「BDS（Book Detection System（3M製 M-3501S）」を更新した。平成25年3月には、窓側の学習机「キャレルディスク（2人掛けx4）」と来客カウンントシステム（TAKEX製 P3-PCT）を設置した。



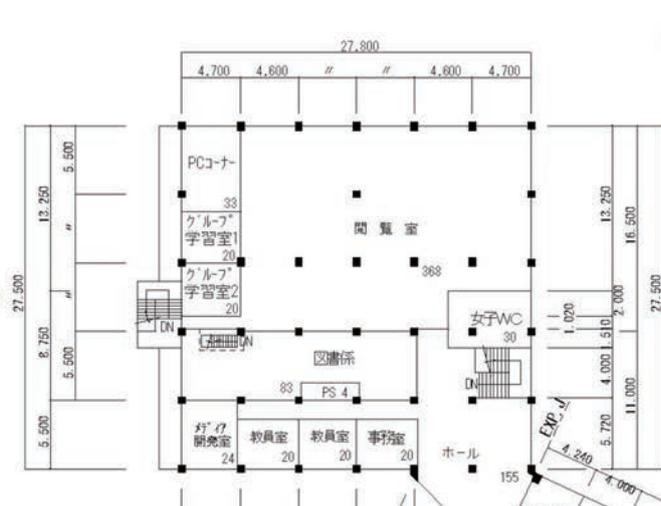
図書館棟1階(改修前)



図書館棟1階(改修後)



図書館棟2階(改修前)



図書館棟2階(改修後)

平成25年度 eラーニング高等教育連携 (eHELP) 全体会議報告

人間情報システム工学科 小松 一男

平成25年8月5日(月) および平成26年1月7日(火)に東京(会場:銀座会議室三丁目)において、平成25年度第1回および第2回のeラーニング高等教育連携(eHELP)全体会議が開催され、その会議に参加しましたのでご報告いたします。

本会議は、eHELP設立当初の平成16年度から継続して開催されており、参加機関が一堂に会してeラーニングに関する意見交換を行っております。本校は平成23年度から参加しており、現在長岡技科大学、豊橋技科大学、各高专等26の機関が参加しております。全体会議では、まず主幹校の長岡技術科学大学 福村教授から挨拶があり、招待講演、続いて各機関のeラーニング取り組み状況、単位互換における授業配信・受信状況、活動方針の討議、eHELPに設置されている5研究グループの研究報告などが行われました。第1回全体会議の講演では、明治大学 研究・知財戦略機構 福原特任教授から「オープンエデュケーションの動向」、第2回全体会議では、千歳科学技術大学 総合光科学部 小松川 浩教授から「ICTを活用した質保証の取組-初年次・専門・キャリアを繋ぐ-」と題して講演があり、その後質疑応答がありました。5つの研究グループ、「eラーニングにおける学習スタイル研究グループ」、「eラーニングのためのバイオセンシング研究グループ」、「eラーニングの質の向上に関する調査研究グループ」、「eラーニングにおけるPBLモデルの研究グループ」、「eラーニングにおけるコンテンツ配信研究グループ」から最新のeラーニング研究成果について報告がなされました。議事および研究報告の後には、質疑応答があり、各機関の間で活発な意見交換がなされました。

■eラーニング高等教育連携 (eHELP) とは

大学、高专など全国の高等教育機関の幅広い協力体制を構築し、大規模なeラーニングによる教育実践を展開することによって、実績に裏打ちされた新しいeラーニング実践モデルを構築することを目的としています。

【eラーニング高等教育連携 (eHELP) 平成25年度参加機関:26機関】

千葉大学、長岡技術科学大学(主幹事校)、豊橋技術科学大学、広島大学、九州工業大学、北陸先端科学技術大学院大学、釧路工業高等専門学校、旭川工業高等専門学校、八戸工業高等専門学校、仙台高等専門学校、福島工業高等専門学校、茨城工業高等専門学校、小山工業高等専門学校、群馬工業高等専門学校、木更津工業高等専門学校、長岡工業高等専門学校、福井工業高等専門学校、岐阜工業高等専門学校、豊田工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、鈴鹿工業高等専門学校、松江工業高等専門学校、徳山工業高等専門学校、新居浜工業高等専門学校、熊本高等専門学校、放送大学教育支援センター

障害・メンテナンス記録 (熊本キャンパス)

月 日	内 容
4月 2日	校内 LAN 更新に伴って発生した無線 LAN 不通への対処。
4月 17日	認証サーバに登録した特定のユーザから Web 給与明細システムにログインできないトラブルへの対応。
5月 7日	LAN 管理サーバのリモートデスクトップ環境整備。
5月 17日	認証サーバのキャンパス間連携処理の一部で生じる不具合への対応。
6月 13～25日	認証サーバに登録した特定のユーザから Web 給与明細システムにログインできないトラブルへの対応。
6月 27日	無線 LAN でなりすまし SSID らしき事象を発見。注意喚起した。
6月 28日	認証サーバのパスワード期限通知メッセージ文言に関する調整。
8月 20日	1号棟卒検室改修工事に伴う LAN 環境の設定変更。
8月 27日	Xyθος と認証サーバとの連携に関する調整。
9月 15日	年次点検に伴う学内停電への対応。
10月 18日	人事異動に伴う認証サーバのユーザ登録変更。
10月 21日	研究室管理サーバのひとつが外部から不正侵入されている事象を発見。再インストール等を依頼。
11月 14日	ICT 演習室のディスク容量関係のトラブルへの対応。
1月 20日	八代 C の DNS 更新に伴い、熊本 C 内の DNS 設定変更。
1月 21日	認証サーバのユーザパスワード禁則文字設定を変更。
2月 19日	学生用 G-mail の不具合の報告あり。システム側は対処済み。
3月 13日	認証ゲートウェイ停止による無線 LAN 不通への対処
3月 26日	無線 LAN 環境変更に伴う認証サーバの RADIUS 設定変更。

障害対応・メンテナンス状況の作業報告

ーサーバ関係ー (八代キャンパス)

ICT 活用学習支援センター 小島 俊輔

障害対応・メンテナンスの具体的な作業内容は、簡単なものはサーバの設定内容の確認や修正などであり、数分で終了するものが多くを占める。また時間を要する作業として、TV会議システムなど複雑なプロトコルを持つネットワーク機器の通信の不具合の原因究明や、サーバへの新たな機能の追加、サーバ自体のリプレース作業などがあり、対応に数時間～数日を要するものもある。

ここでは、八代キャンパスのネットワークを支える主な4台のサーバについて、管理のためのログイン回数をまとめることとした。まず、対象となった4台のサーバの主な働きを簡単に説明しておく。サーバAは学外DNSとメール転送、サーバBは学内へのDNS、DHCP、NTP、レジストリサービス、サーバCはFireWallに接続する際の透過proxy、サーバDは教員セグメントへのWebサービスの提供である。ここに挙げた4台のサーバは代表的なものであるが、これ以外にもICT活用学習支援センターでは多くのサーバを抱えている。またサーバ以外に統合認証システムやFireWall、ネットワークスイッチなど管理すべき対象は多岐に及んでいる。これらの多くはWebベースで管理されており、今回の統計情報には含めてはいない。

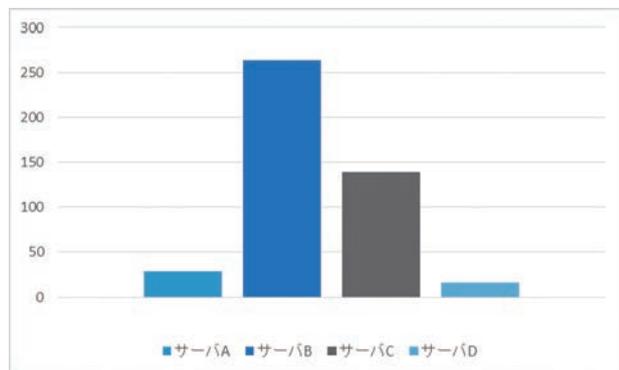


図1: サーバごとの年間ログイン総数

図1に年間のログイン総数を示している。サーバBに持たせている機能が多く、年間264回（月平均22回）ログインしている。また、サーバCはproxyの機能しか有し

ていないが、ログイン回数は多い。これは、学外への通信が必ずこのサーバを通過しており、通信障害の際の問題切わけの要となるためである。月別ごとのログイン回数を集計したものを図2にまとめておく。サーバによって、3月～5月に作業が集中するものと、年間を通じて作業が分散しているものがある。サーバAは2014年1月にサーバのリプレースを実施しており、その時点からの作業記録を掲載した。

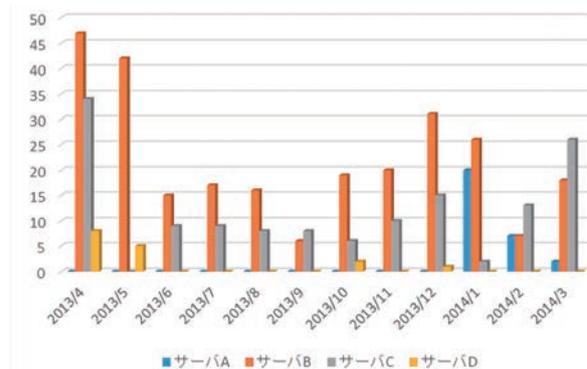


図2: サーバごとの月間ログイン回数

図3は、作業を行った管理者ごとに、ログイン回数を調査したものである。管理者A、管理者Bのログイン回数が多くを占めており、それ以外の管理者のログインについては「その他」でまとめて記載している。管理者A、管理者Bの管理ログイン回数は月によってばらつきがあり、その他管理者については作業回数にそれほど大きなばらつきが無いという特徴がある。

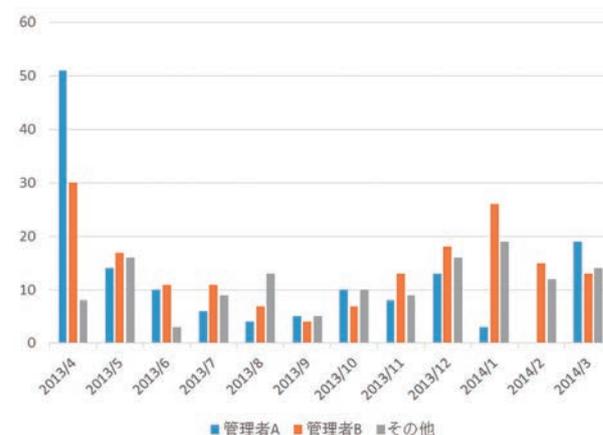


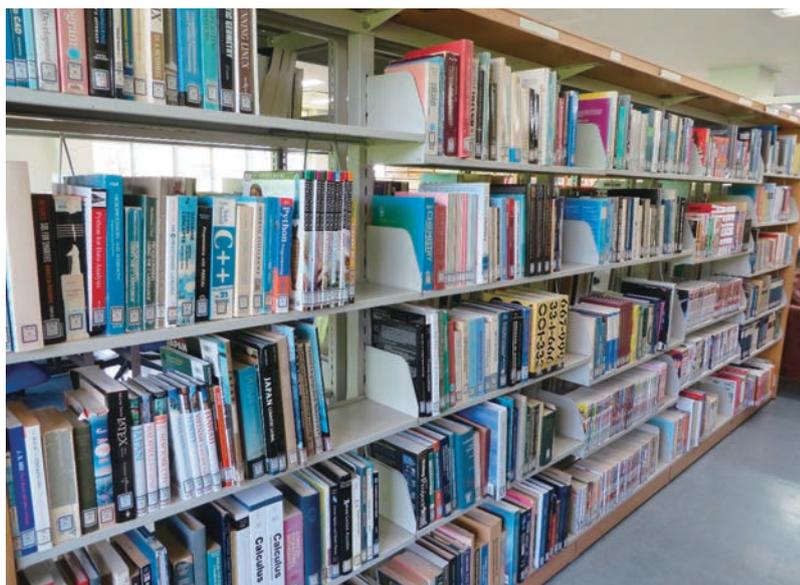
図3: 管理者ごとの月間ログイン回数

教育用システム障害・メンテナンス記録(八代キャンパス)

八代キャンパス共通教育科 赤石 仁

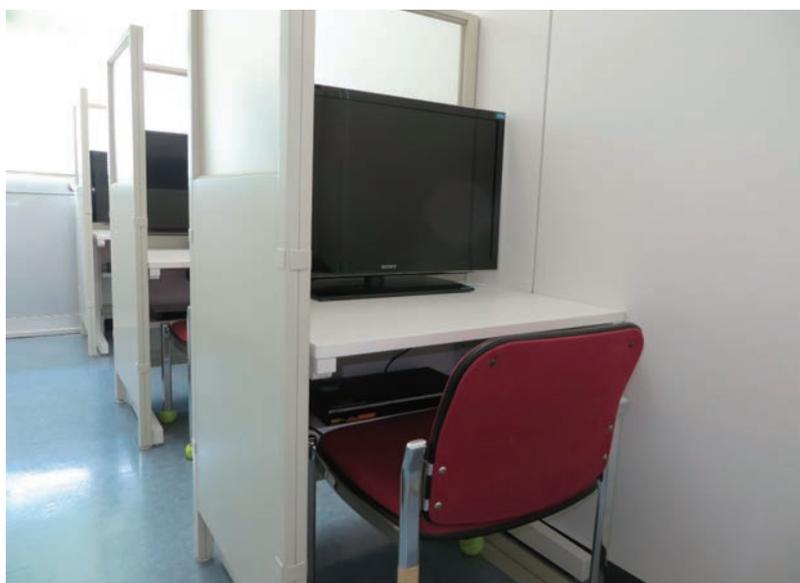
月日	障害/メンテナンス/機器番号	内 容	原因	対 処
4月 9日	機器番号不明	PC電源はいらず	不明	電源部(Psu)交換
5月16日	ソフトウェアインストール作業	FFFTP		
6月12日	206	PC電源オレンジ点滅起動せず	不明	マザーボード交換
7月30日	129	キーボード不良 (t 反応なし)	不明	無償交換
7月30日	314	キーボード不良 (t f g 反応なし)	不明	無償交換
7月30日	214	キーボード不良 (t 反応なし)	不明	無償交換
8月 7日	アカウント作成	オープンキャンパス用のゲストアカウント設定		
8月 8日	104	PC電源はいらず	不明	電源ユニット交換
8月22日	アカウント作成	サマーセミナー用のゲストアカウント設定		
8月26日	アカウント作成	小学生向けコンピュータプログラム体験とシニアネット向けパソコン講座用ゲストアカウントの設定		
9月 9日	209	PC電源はいらず	不明	マザーボード交換
9月17日	アカウント作成	社会人講座用ゲストアカウント設定		
9月24日	ソフトウェアインストール作業	FirefoxとAtmel studio6.0		
9月30日	104	PC電源はいらず	不明	マザーボード交換
9月30日	207	キーボード不良 (t 反応なし)	不明	無償交換
9月30日	221	キーボード不良 (t 反応なし)	不明	無償交換
9月30日	222	キーボード不良 (t 反応なし)	不明	無償交換
10月 3日	146	PC電源オレンジ点滅起動せず	不明	電源ユニット交換
10月11日	ソフトウェアインストール作業	Sylpheed		
10月16日	アカウント作成	留学生2名のアカウント作成		
10月25日	407	キーボード不良 (t y 反応なし)	不明	無償交換
10月28日	ソフトウェアインストール作業	ムービーメーカー		
11月 7日	ソフトウェアインストール作業	ThinkdBoard Free60のインストール		
11月11日	248	キーボード不良 (t y f 反応なし)	不明	無償交換
11月15日	323	キーボード不良 (t 反応なし)	不明	無償交換
11月15日	137	キーボード不良 (t r 反応なし)	不明	無償交換
11月15日	239	キーボード不良 (t 反応なし)	不明	無償交換
11月20日	223	キーボード不良 (t 反応なし)	不明	無償交換
12月12日	210	キーボード不良 (t 反応なし)	不明	無償交換
12月16日~ 12月18日	ソフトウェアインストール作業	秀丸エディタのインストール・DV-Xα法計算支援環境構築		
12月18日	242	キーボード不良 (t 反応なし)	不明	無償交換
12月25日	310	PC電源オレンジ点滅起動せず	不明	電源部(Psu)交換
1月 7日	PR21	カタカタ音、用紙ジャム頻発	不明	定着器交換、走行路の清掃
1月21日	124	PC電源オレンジ点滅起動せず	不明	メモリ交換
3月17日~ 3月18日	ソフトウェアインストール作業	MathType/バージョンアップ, Solid Worksバージョンアップ, Scilabインストール, ESET NOD32バージョンアップ, Fritzingインストール, Arduinoバージョンアップ		
3月17日~ 3月18日	ファイルサーババックアップ作業			

今年度から、パソコンやモニタなども業者との保守契約に入ったため、日常的に生じる機器の不調は業者へ連絡して交換してもらっている。昨年度までに比べて保守業務の負担が軽減している。



◀英語書籍の充実

限られた予算ですが、英語の専門書、小説、コミックなどを充実させました。
(八代キャンパス)



◀英語DVD視聴ブースの新設

3名分ですが、DVDを視聴できるブースを新設しました。(八代キャンパス)



◀キャレルデスクの新設

図書館閲覧室の北側に8名分のキャレルデスクを新設しました。
(八代キャンパス)

H25年度 演習室インストールソフトウェア一覧(八代キャンパス)

	ソフト	第1 演習室	第2 演習室	第3 演習室	第4 演習室	図書	寮
1	Microsoft Windows7 Professional	○	○	○	○	○	○
2	Microsoft Office Professional Plus 2013	○	○	○	○	○	○
3	ESET Endpoint アンチウイルス	○	○	○	○	○	○
4	Microsoft Visual Studio 2012 Professional	○	○	○	○	○	○
5	SolidWorks 2013 sp03	○	○	○	○	○	○
6	Illustrator CS5 15.0	○	○	○	○	○	○
7	MathType	○	○	○	○	○	○
8	Photoshop Elements 6	○	○	○	○	○	○
9	Calabo EX				○		
10	Arduino 1.0.5	○	○	○	○	○	○
11	ezhtml	○	○	○	○	○	○
12	Winscp	○	○	○	○	○	○
13	Adobe Reader 10.1.4	○	○	○	○	○	○
14	Adobe Flash Player (ActiceX)	○	○	○	○	○	○
15	Oracle Java SE Development Kit	○	○	○	○	○	○
16	JWCAD	○	○	○	○	○	○
17	Lhaplus	○	○	○	○	○	○
18	Matx Visual C++2005	○	○	○	○	○	○
19	processing	○	○	○	○	○	○
20	Tera term	○	○	○	○	○	○
21	WinAVR + Atmel Studio6 v6	○	○	○	○	○	○
22	一言メモ	○	○	○	○	○	○
23	pgAdmin III 1.14.3	○	○	○	○	○	○
24	DOGA-E	○	○	○	○	○	○
25	Eclipse Pleiades All in one Java C++ Python	○	○	○	○	○	○
26	pictbear	○	○	○	○	○	○
27	inkscape	○	○	○	○	○	○
28	Truecrypt	○	○	○	○	○	○
29	Google Earth 6	○	○	○	○	○	○
30	Squeakland 2005 J2	○	○	○	○	○	○
31	Google Sketchup 8	○	○	○	○	○	○
32	Auto CAD 2013	○	○	○	○	○	○
33	Auto CAD 2013 architecture	○	○	○	○	○	○
34	grapes 6.8	○	○	○	○	○	○
35	terapad 1.09	○	○	○	○	○	○
36	パケットトレーサー	○	○	○	○	○	○
37	ピクシア	○	○	○	○	○	○
38	Dx-lib	○	○	○	○	○	○
39	Windows ムービーメーカー	○	○	○	○	○	○
40	Panasonic 電子黒板	○	○	○	○	○	○
41	ThinkBoard Free60	○	○	○	○	○	○
42	ffftp	○	○	○	○	○	○
43	w3m	○	○	○	○	○	○
44	Firefox	○	○	○	○	○	○
45	Atmel STUDIO 6	○	○	○	○	○	○
46	Visual Studio 2010 Shell 日本語版	○	○	○	○	○	○
47	Sylpheed	○	○	○	○	○	○
48	Fritzing 0.8.7b	○	○	○	○	○	○
49	Scilab 5.4.1	○	○	○	○	○	○

資料

H25年度 前期ICT演習室時間割(八代キャンパス)

曜日	時間	第1演習室	第2演習室	第3演習室	第4演習室
月	1	デジタル制御 専2 開	回路設計 5M 村山	建築設計演習 4AC 磯田・下田・森山・勝野	英語IVA 4BC 英語科
	2	地形情報処理 3AC 入江	電子応用機器 5E 村田勝	建築設計演習 4AC 磯田・下田・森山・勝野	OS 5E 池田直
	3	ネットワーク入門 2AC 藤本		コンパイラ 5E 小島	英語IVA 4MI 英語科
	4	応用情報科学 専1 池田直	基礎情報工学 2AC 米沢・小島	複合工学セミナー 4年・5年 磯谷・西村	
	放課後		17:00-19:00 情報システム研究部		
火	1	ネットワーク入門 2MI 藤本	基礎情報工学 2BC 米沢・赤石	ソフトウェア工学 5E 小島	情報処理I 4BC 村田美
	2	機械設計製図I 3MI 福田			設計製図II 3AC 下田・磯田
	3	ネットワーク入門 2BC 藤本	情報処理I 4MI 宮本		情報信号処理 専1E 池田直
	4				
	放課後		17:00-19:00 情報システム研究部		
水	1	ネットワーク 5E 藤本	機械設計製図II 4MI 田中禎	リサイクル工学 5M 井山	リモートセンシング 5C 齊藤
	2	データ構造とアルゴリズム 5E 池田直	数理解析 5M 開	信号処理 5E 森内	英語IVA 4AC 英語科
	3	プログラミング基礎 3BC 小島・米沢・村田美	技術英語I 5E 森内		建築設計演習 5C 磯田他
	4	製図基礎II 2MI 豊浦			
	放課後		17:00-19:00 情報システム研究部		
木	1	基礎情報工学 2MI 米沢・藤本	プログラミング基礎 3MI 小島・赤石・村山		英語V 5年 石貴
	2	情報基礎 1AC 磯谷・赤石	コンピュータ計測 5M 開	システム工学 5E 森内	
	3	情報処理I 4AC 藤野	製図基礎I 1MI 田中裕	プログラミング言語 5E 米沢	上級英語 専1 宇ノ木
	4	情報基礎 1BC 磯谷・赤石		プログラミング技法 専2E 小島	
	放課後		17:00-19:00 情報システム研究部		
金	1	情報基礎 1MI 米沢・赤石	情報理論 5E 森内	コンピュータネットワーク 5M 小田	メディア造形 3AC 下田
	2	プログラミング基礎 3AC 小島・開・米沢	基礎工学演習 専1 井山	データベース 5E 村田美	建築設計演習 5C 岩坪・磯田他
	3		総合設計 5M 井山	情報システム実験 専2E 湯治・村田美	建築設計演習 5C 岩坪・磯田他
	4		総合設計 5M 井山	情報システム実験 専2E 湯治・村田美	
	放課後		17:00-19:00 情報システム研究部		
土			8:30-12:30 情報システム研究部		

H25年度 後期ICT演習室時間割(八代キャンパス)

曜日	時間	第1演習室	第2演習室	第3演習室	第4演習室
月	1	データ解析 専1 大河内・小島	基礎情報工学 2BC 米沢・赤石	建築設計演習 4AC 磯田・下田・森山・勝野	ITデザイン演習 4AC 入江・岩坪
	2	プログラミング基礎 3AC 小島・開・米沢	電子応用機器 5E 村田勝	建築設計演習 4AC 磯田・下田・森山・勝野	地形情報処理 5C 入江
	3	マイコンプロ 2AC 開・藤本	総合実習I 3MI 毛利・村山	コンパイラ 5E 小島	英語IVB 4BC 英語科
	4	基礎情報工学 2MI 米沢・藤本	総合実習I 3MI 毛利・村山		進路支援セミナー(英語)5年 宇ノ木・石貴
	放課後		17:00-19:00 情報システム研究部		
火	1	情報基礎 1AC 磯谷・赤石	総合設計 5M 豊浦	情報伝送工学 専2E 森内	
	2	地形情報処理 3AC 入江	機械設計製図II 4MI 田中禎		情報認識 5E 池田直
	3	マイコンプロ 2BC 開・藤本	情報処理II 4MI 宮本	プレゼン技法 5B 村田美	
	4			デジタルシステム 専2E 池田	
	放課後		17:00-19:00 情報システム研究部		
水	1	基礎情報工学 2AC 米沢・小島	ネットワーク 5E 藤本	シーケンス制御 5M 小田	英語IVB 4MI 英語科
	2	データ構造とアルゴリズム 5E 池田直	数理解析 5M 開		英語IVB 4AC 英語科
	3	マイコンプロ 2MI 藤本・開	情報電子基礎実験 3BC 池田直・村田美・中島	情報システム実験 専2E 米沢	
	4	製図基礎II 2MI 豊浦	情報電子基礎実験 3BC 池田直・村田美・中島	情報システム実験 専2E 米沢	
	放課後		17:00-19:00 情報システム研究部		
木	1	情報処理II 4AC 入江	プログラミング基礎 3MI 小島・赤石・村山		英語V 5年 岩下
	2	情報基礎 1BC 磯谷・赤石	プログラミング基礎 3BC 小島・米沢・村田美		機械工学概論 2MI 西
	3	情報基礎 1MI 米沢・赤石	情報理論 5E 森内	電磁気現象論 専1E 井上	スピーチコミュニケーション 専2 宇ノ木他
	4				設計製図II 3AC 下田・磯田
	放課後		17:00-19:00 情報システム研究部		
金	1	メディア造形 3AC 下田	生命情報科学 専2 吉永	データベース 5E 村田美	
	2	基礎工学演習 専1 湯治・村田美	製図基礎I 1MI 田中裕	ソフトウェア工学 5E 小島	信号処理 5E 森内
	3	機械設計製図I 3MI 井山			科学技術英語 専1 湊田・村山
	4				OS 5E 池田直
	放課後		17:00-19:00 情報システム研究部		
土			8:30-12:30 情報システム研究部		

資料

Web Classの利用状況の集計

H25年度 コースごとのコンテンツ利用状況(八代キャンパス)

学年	クラス	コース名	コンテンツ種類			
			資料	ｽﾌﾟﾘｯﾄ	ユニット	会議室
1	AC	情報基礎	○	○		
1	AC	英語Ⅰ		○		
1	BC	情報基礎	○	○		
1	BC	生物基礎Ⅰ	○			
1	MI	情報基礎	○	○		
2	AC	ネットワーク入門	○	○		
2	AC	マイコンプログラミング入門	○	○		
2	AC	基礎情報工学	○			
2	AC	基礎電気工学	○			
2	AC	数学Ⅱ(ベクトル)	○	○		
2	BC	ネットワーク入門	○	○		
2	BC	マイコンプログラミング入門	○	○		
2	BC	化学基礎	○			
2	BC	基礎情報工学	○			
2	BC	基礎電気工学	○			
2	BC	数学Ⅱ(微積)	○			
2	BC	生物工学実習	○			
2	MI	ネットワーク入門	○	○		
2	MI	マイコンプログラミング入門	○	○		
2	MI	基礎情報工学	○	○		
2	MI	基礎電気工学	○			
2	MI	物理Ⅰ	○			
3	AC	プログラミング基礎	○	○		
3	AC	メディア造形	○			
3	AC	土質工学		○		
3	AC	地形情報処理	○	○		
3	AC	基礎情報工学	○			
3	AC	物理Ⅱ	○			
3	AC	英語Ⅲ	○	○		
3	BC	HR	○			○
3	BC	バイオ基礎化学	○	○		
3	BC	プログラミング基礎	○	○		
3	BC	化学系基礎実験	○			
3	BC	情報電子基礎実験	○	○		
3	BC	物理Ⅱ	○			
3	BC	生化学Ⅰ	○			
3	BC	総合理科Ⅱ	○	○		
3	MI	プログラミング基礎	○	○		
3	MI	総合実習Ⅰ		○		
3	MI	総合実習Ⅰ	○			
4	AC	英語ⅣA		○		
4	AC	英語ⅣB		○		
4	BC	分子生物学	○			
4	BC	分析化学	○			
4	BC	創造実験	○			○
4	BC	基礎物理化学Ⅰ	○	○		
4	BC	工業電子計測	○			
4	BC	情報処理Ⅰ	○	○		
4	BC	有機化学	○			
4	BC	生化学Ⅱ	○			
4	BC	英語ⅣA		○		

学年	クラス	コース名	コンテンツ種類			
			資料	ｽﾌﾟﾘｯﾄ	ユニット	会議室
4	BC	英語ⅣB		○		
4	MI	英語ⅣA		○		
4	MI	英語ⅣB		○		
5	ALL	古典文学	○			
5	ALL	日本現代文学	○	○		
5	ALL	英語Ⅴ		○		
5	B	プレゼンテーション技法	○	○		
5	B	化学物質セミナー	○			
5	B	医薬品工学	○			
5	B	安全工学	○			
5	B	環境科学	○	○		
5	B	生物工学関連法規	○			
5	B	課題研究	○			○
5	B	高分子化学	○			
5	C	防災工学Ⅱ	○	○		
5	E	コンパイラ	○			
5	E	ソフトウェア工学	○			
5	E	データベース	○	○	○	
5	E	ネットワーク	○	○		
5	E	制御工学		○		
5	M	回路設計	○	○		
5	M	数理解析	○	○		
5	M	電磁気工学	○	○		
専1	ALL	データ解析	○	○		
専1	ALL	基礎工学演習	○			
専1	ALL	科学技術者と法	○	○		
専1	ALL	科学技術英語	○	○		
専2	ALL	スピーチコミュニケーション		○		
専2	B	分離工学	○			
専2	B	生命情報科学	○	○		
専2	E	情報システム実験		○		
ALL	ALL	ネットワーク利用オリエンテーション	○	○		
職員	職員	WebClass 講習会	○	○		

図書館統計 (平成25年度熊本キャンパス)

入館者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		3,750	4,095	6,540	5,622	2,487	2,885	3,149	6,009	2,504	3,214	4,494	1,395

蔵書数	和書	洋書	合計
	73,805	3,858	77,663

分野別貸出冊数 日本十進分類法 (NDC)	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 技術工学	6 産業	7 芸術美術	8 言語	9 文学	その他	合計
		618	108	55	399	548	994	78	201	2,181	1,613	14

月別貸出冊数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		696	738	576	710	821	272	603	593	628	568	358	246

図書館統計 (平成25年度八代キャンパス)

入館者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		2,744	2,684	3,186	3,881	1,622	676	2,887	3,162	1,975	2,530	2,208	691

蔵書数	和書	洋書	合計
	60,356	2,873	63,229

分野別貸出冊数 日本十進分類法 (NDC)	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 技術工学	6 産業	7 芸術美術	8 言語	9 文学	その他	合計
		97	111	24	256	282	426	29	144	257	1,672	66

月別貸出冊数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		494	391	322	299	363	98	308	184	328	202	279	96

施設見学者一覧 (平成25年度熊本キャンパス)

月	日	見学者	人数
5	16	鹿児島高専	3
6	17	機構本部	1
6	18	(株)あい設計事務所	6
6	26	三和中学校	45
9	19	機構本部施設部	1
10	2	(株) ADAL (アダル)	1
12	18	沖縄高専	3
3	12	機構本部	2

平成25年度 活動一覧

月	日	活動内容
4	3	教員会にて ICT による教育支援システムの概要説明 (熊本キャンパス)
4	4	平成 25 年度学生補助職員へのガイダンス及び勤務割表作成 (熊本キャンパス)
4	4	新入生のために図書館の利用案内リーフレット「図書館 navi」配布 (熊本キャンパス)
4	4	専攻科ガイダンスにおいて図書・論文検索方法の説明 (八代キャンパス)
4	6	TV 会議システムのネットワーク設置 (MAC アドレス登録等) (熊本キャンパス)
4	8	メールアカウントの年度更新 (熊本キャンパス)
4	14	Jdream III の利用案内 (熊本キャンパス)
4	18	機構理事長ヒヤリング資料作成 (熊本キャンパス)
4	19	学生補助職員への業務の確認 (熊本キャンパス)
4	24	第 1 回 ICT 活用学習支援センター八代キャンパス委員会会議
4	25	平成 25 年度「学校概要」の原稿修正 (熊本キャンパス)
4	26	校内 LAN 完成図書最終版の受け取り (熊本キャンパス)
4	26	ICT センター報第 2 号 (熊本キャンパス分) 原稿修正 (熊本キャンパス)
4		平成 25 年度 K システムの登録 (熊本キャンパス)
4		新入生および編入生に対する WebClass の導入教育 (熊本キャンパス)
4		全学生への WebClass によるネチケット教育 (八代キャンパス)
5	12	熊本高専教職員用ファイルサーバのサービス提供開始
5	14	第 1 回学術情報活用支援委員会開催 (熊本キャンパス)
5	23	熊本キャンパス図書委員会開催
5	29	第 2 回 ICT 活用学習支援センター八代キャンパス委員会会議
5	16	第 1 回 ICT 活用学習支援センター運営委員会会議
6	4	平成 25 年度熊本県大学図書館協議会参加
6	17	図書館入口にインフォメーション用大型ディスプレイ設置 (熊本キャンパス)
6	17	第 1 回ブックハンティング実施 (於 蔦谷書店熊本三年坂店) (熊本キャンパス)
6	26	第 3 回 ICT 活用学習支援センター八代キャンパス委員会会議
6	28	「希望の声」(6 月以前分) 審査 (熊本キャンパス)
7	24	熊本高専公式ホームページの熊本キャンパス図書館用「寄稿者」アカウント「k-tosho」を作成。(熊本キャンパス)
7	30	平成 25 年度校内読書感想文コンクール最終審査委員会 (熊本キャンパス)
7	30	第 2 回学術情報活用支援委員会開催 (熊本キャンパス)
7	31	第 4 回 ICT 活用学習支援センター八代キャンパス委員会会議
7	11	平成 24 年度熊本高等専門学校 ICT 活用学習支援センター報第 2 号の発行
8	5	第 1 回 e ラーニング高等教育連携 (eHELP) 全体会議参加
8	7	「希望の声」(8 月分) 審査 (熊本キャンパス)
8	12	八代キャンパス「図書館だより」第 44 号発行
8	22	長岡技科大図書館情報シンポジウム参加 (~ 23 日まで) (熊本キャンパス)
8	23	管理棟改修に伴うサーバ移設と LAN 環境の変更 (熊本キャンパス)
8	25	平成 25 年度中学校サマーセミナー (八代キャンパス)
9	2	平成 25 年度熊本高専教員研修会において e ラーニング講習会を開催
9	4	第 1 回 ICT センター熊本キャンパス事業部会議
9	8	小学校 5, 6 年生を対象としたコンピュータプログラム体験 (八代キャンパス)
9	9 ~ 11	熊本シニアネット八代支部会員への「ワード文書作成」セミナー (八代キャンパス)
9	17	「希望の声」(9 月分) 審査 (熊本キャンパス)
9	19	平成 25 年度熊本県大学図書館職員研修会・セミナー参加 (熊本キャンパス)
9	25	第 5 回 ICT 活用学習支援センター八代キャンパス委員会会議
9	26	平成 26 年度外国雑誌購読決定 (熊本キャンパス)
10	1	熊本キャンパス一般利用者入館証作成
10	3	Jdream III 及び ScienceDirect の利用案内 (熊本キャンパス)
10	3	電子情報通信学会の電子論文誌の購読案内 (熊本キャンパス)
10	7	図書館事務補佐員採用面接 (熊本キャンパス)
10	11	「希望の声」(10 月分) 審査 (熊本キャンパス)
10	12, 19, 26	社会人対象「Arduino によるマイコン入門講座」(八代キャンパス、イノベーションセンターと共催)
10	15	無線 LAN の現状と将来計画のとりまとめ (熊本キャンパス)
10	17	学生図書職員の 11 月以後の勤務割表修正 (熊本キャンパス)

月	日	活動内容
10	21	H25 補正予算第 2 次配分対象設備として無線 LAN 整備が決定 (熊本キャンパス)
10	27	平成 25 年度熊本県中学校プログラミングコンテスト (八代キャンパス)
10	29	機構主催高専向け Shibboleth 講習会 (両キャンパス)
10	29	第 3 回学術情報活用支援委員会開催 (熊本キャンパス)
10	29	蔵書点検実施 (アセットインベントリー株式会社) (熊本キャンパス)
10	30	校内読書感想文コンクール入選者表彰式開催 (熊本キャンパス)
10	30	第 6 回 ICT 活用学習支援センター八代キャンパス委員会会議
10		図書館 1 F (書庫、空調機械室、準備室、倉庫)、2 F (会議・資料室) の改修 (八代キャンパス)
11	14	「希望の声」(11 月分) 審査 (熊本キャンパス)
11	14	第 1 回 ICT 活用学習支援センター熊本キャンパス委員会開催
11	26	第 2 回 ICT 活用学習支援センター運営委員会会議 (メール審議)
11	27	第 7 回 ICT 活用学習支援センター八代キャンパス委員会会議
11	28	熊本キャンパス運営会議で図書館利用規則等の一部改正を説明
12	1	熊本キャンパス図書館利用規則一部改正施行
12	2	学内教員対象「ThinkBoard 操作講習会」(八代キャンパス)
12	2, 3	高専機構主催平成 25 年度情報担当者研修会参加
12	3	「希望の声」(12 月分) 審査 (熊本キャンパス)
12	4	平成 25 年度第 59 回青少年読書感想文全国コンクール入賞者表彰式開催 (熊本キャンパス)
12	4	第 2 回 ICT センター熊本キャンパス事業部会議
12	5	樋口佳奈 (TE3) 写真展開催 (～12 月 21 日まで) (熊本キャンパス)
12	7	第 2 回ブックハンティング実施 (於 蔦屋書店熊本三年坂店) (熊本キャンパス)
12	7	ブックハンティング実施 (於 喜久屋書店熊本店、蔦屋書店熊本三年坂店 (八代キャンパス)
12	10	年間購読和雑誌の審査 (熊本キャンパス)
12	11～13	総務省主催総務省情報システム統一研修参加
12	18	学会誌等の購読の審議 (学科会議) (熊本キャンパス)
12	18	第 8 回 ICT 活用学習支援センター八代キャンパス委員会会議
1	6	イラスト研究会作品展開催 (～2 月 7 日まで) (熊本キャンパス)
1	7	第 2 回 e ラーニング高等教育連携 (eHELP) 全体会議参加
1	9	熊本キャンパス企画委員会 (電気学会論文誌の購読費支出)
1	16	対外接続変更に伴うキャンパス間接続の変更
1	21	学術論文・雑誌等購読希望アンケート調査実施 (熊本キャンパス)
1	25	対外接続を SINET 側の事情により SINET4 に変更 (熊本キャンパス)
1	29	第 9 回 ICT 活用学習支援センター八代キャンパス委員会会議
1～2		無線 LAN 整備に伴う配線工事 (熊本キャンパス)
1		DVD 視聴コーナー (3 名分) の新設 (八代キャンパス)
2	1	熊本キャンパス図書館だより (くぬぎの森) 第 25 号発行
2	5	学内教員対象「Web C l a s s 操作講習会」(八代キャンパス)
2	19	第 4 回学術情報活用支援委員会開催 (熊本キャンパス)
2	22, 23	無線 LAN アクセスポイント設置 (熊本キャンパス)
2	24	第 10 回 ICT 活用学習支援センター八代キャンパス委員会会議
2	24～27	熊本キャンパス熊本高専生によるパソコン教室実施
2	25	第 2 回 ICT 活用学習支援センター熊本キャンパス委員会開催
3	3	熊本キャンパス図書館だより「くぬぎの森」学生・教職員に配布
3	5	平成 26 年度学生補助職員へのガイダンス及び勤務割表作成 (熊本キャンパス)
3	5	第 3 回 ICT 活用学習支援センター運営委員会会議 (メール審議)
3	19	第 11 回 ICT 活用学習支援センター八代キャンパス委員会会議
3	24	平成 25 年度計画及び第 2 期中期計画の点検評価 (熊本キャンパス)
3	25	熊本キャンパス管理棟 LAN 整備
3	26	「熊本高等専門学校熊本キャンパス 図書館利用案内 2014」作成 (全学生に配布予定)
3	28, 29	熊本キャンパス無線 LAN の新システムへの移行
3		熊本キャンパス無線 LAN 調整作業
3	30	熊本キャンパス図書館内フロアのクリーニング
3	31	第 4 回 ICT 活用学習支援センター運営委員会会議 (メール審議)
3		図書館閲覧室に窓面キャレルデスク (4 人用) 2 台設置 (八代キャンパス)
4～3		セキュリティ対策とサーバ運用
4～3		教育用システムの保守・運用
4～3		無線 LAN 環境の整備
4～3		図書データベース作成のためのデータ入力作業

◆ICT活用学習支援センタースタッフ

センター長	米沢 徹也 (八代キャンパス共通教育科)
副センター長	小松 一男 (人間情報システム工学科)
学術情報活用支援事業部長	藤本 洋一 (ICT 活用学習支援センター)
学術情報活用支援事業副部長 (熊本キャンパス図書館長)	伊藤 利明 (熊本キャンパス共通教育科)
ICT 基盤整備事業部長	石原 秀樹 (熊本キャンパス共通教育科)
ICT 基盤整備事業副部長	小島 俊輔 (ICT 活用学習支援センター)
協調学習支援事業部長	赤石 仁 (八代キャンパス共通教育科)
協調学習支援事業副部長	小松 一男 (人間情報システム工学科)
ICT 教育改善事業部長	小松 一男 (人間情報システム工学科)
ICT 教育改善事業副部長	村田美友紀 (生物化学システム工学科)
熊本キャンパス図書館	高木 眞弓 (図書係長)
八代キャンパス図書館	光永 清司 (学術情報係長)

◆ICT活用学習支援センター運営委員会委員

熊本キャンパス	八代キャンパス
小松 一男 (人間情報システム工学科)	米沢 徹也 (八代キャンパス共通教育科)
伊藤 利明 (熊本キャンパス共通教育科)	藤本 洋一 (ICT 活用学習支援センター)
石原 秀樹 (熊本キャンパス共通教育科)	小島 俊輔 (ICT 活用学習支援センター)
永田 和生 (情報通信エレクトロニクス工学科)	村山 浩一 (機械知能システム工学科)
藤井 慶 (人間情報システム工学科)	村田美友紀 (生物化学システム工学科)
	赤石 仁 (八代キャンパス共通教育科)

【事務部】

小枝 義則 (総務課長)	高嶋 重俊 (学生課長)
大平 和美 (管理課長)	光永 清司 (学術情報係長)
前田 俊哉 (学務課長)	高木 眞弓 (図書係長)

◆ICT活用学習支援センター熊本キャンパス委員会委員

小松 一男 (人間情報システム工学科)	柴里 弘毅 (制御情報システム工学科)
伊藤 利明 (熊本キャンパス共通教育科)	神田 一伸 (人間情報システム工学科)
石原 秀樹 (熊本キャンパス共通教育科)	藤井 慶 (人間情報システム工学科)
新谷 洋人 (情報通信エレクトロニクス工学科)	松尾かな子 (熊本キャンパス共通教育科)
永田 和生 (情報通信エレクトロニクス工学科)	石原 秀樹 (熊本キャンパス共通教育科)
寺田 晋也 (制御情報システム工学科)	光永 武志 (熊本キャンパス共通教育科)
野尻 紘聖 (制御情報システム工学科)	高木 眞弓 (図書係長)

◆ICT活用学習支援センター八代キャンパス委員会委員

米沢 徹也 (八代キャンパス共通教育科)	池田 翼 (八代キャンパス共通教育科)
藤本 洋一 (ICT 活用学習支援センター)	岩坪 要 (建築社会デザイン工学科)
小島 俊輔 (ICT 活用学習支援センター)	岩本 舞 (技術・教育支援センター)
村山 浩一 (機械知能システム工学科)	光永 清司 (学術情報係長)
村田美友紀 (生物化学システム工学科)	川村 裕樹 (総務課)
赤石 仁 (八代キャンパス共通教育科)	

毎年、年度末から年度初めにかけてICT活用学習支援センターが管理していますサーバや機器の各種設定やファイルの更新作業のためにセンター報の原稿の執筆や編集に手が回らず、ICT活用学習支援センター報の発行の時期は年度が替わった7月頃に定着いたしました。今回の発行で第3号となりますが、ご多忙中にも関わらずご執筆頂きました皆様には深く感謝申し上げます。ICT活用学習支援センターの活動内容をご理解頂けると思いますので、是非ご一読頂きまして、本誌やセンター活動に皆様からのご意見をお寄せ頂ければと思っています。何卒よろしくお願い申し上げます。

平成25年度 熊本高等専門学校ICT活用学習支援センター報 第3号
2014年7月発行

編集/発行 熊本高等専門学校ICT活用学習支援センター

◆熊本キャンパス

〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2

Tel 096-242-6019

Fax 096-242-5504

◆八代キャンパス

〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627

Tel&Fax 0965-53-1317